



立志 栗中だより

学校だより
足立区立栗島中学校
校長 豊崎 努
令和6年9月4日
<http://www.adachi.ed.jp/adkuri/>

明日への原動力

副校長 工藤 佳女

44日間の夏休みがあつという間に終わり、学校が始まりました。9月2日(月)の初日の登校日は、生徒たちの元気な挨拶と明るい笑顔に包まれました。その様子から、それぞれに充実した夏休みを過ごすことができたのだと思います。大きな事故や事件の報告もなく、ほっとしています。

この夏は、去年にも負けない猛暑続きで、非常に暑い夏でした。そして、私の心も熱く燃えました。パリオリンピック、高校野球・・・、スポーツの力に興奮しました。選手が競技終了後に喜び合う姿、涙する姿、お互いに健闘をたたえ合う姿に感動しました。メダルを獲得し喜びを爆発する姿はもちろん、私の心に残るのは惜敗し涙するアスリートたちの姿です。涙の裏側にある、計り知れないほどの努力を想像し、苦しくなったからです。悔し涙は本当に頑張ったからこそ、流せるものだと思います。

卓球男子代表の張本智和選手が、男子団体3位決定戦で敗れた後、「残念な結果の選手もいれば、一方で喜びにあふれた選手もいる。」と話したように、勝つ選手がいれば必ず負ける選手がいます。それがスポーツの世界です。しかし、今日負けて涙を流した選手は、明日の勝利を信じ、涙をぬぐい前を向くのです。辛くても顔を上げて前に進むのです。それを証明したのは柔道の阿部詩選手です。金メダルを期待された阿部選手は女子52kg級の2回戦で1本負けをし涙しました。テレビに映し出された号泣ぶりは痛々しいほどで、二度と立ち上がれないのではないかと誰もが心配しました。しかし、阿部選手はその敗戦から6日後の団体戦に出場し、日本の銀メダル獲得に貢献しています。表彰台で見せた笑顔はメダルよりも輝いていました。今日の悔し涙は、明日の喜びに変わることを実感した瞬間でした。

オリンピックの感動が冷めない中、一人の教え子と会う機会がありました。彼は中学校卒業後、サッカー一推薦で地方の強豪校に進学しました。親元を離れ、寮生活をしています。部員数270名、その中でキャプテンを務め頑張っていることを知り、とても嬉しくなりました。ふと思い出しました。彼はコロナ禍で中学校3年間を過ごし、大好きなサッカーができず、自暴自棄になったことがありました。大会もない、練習もできない、悔しくて涙にくれたこともありました。そんな教え子の今の言葉です。「あの時の我慢や悔しい思いがあったからこそ、今は幸せだし、楽しいと思えます。」本当に頑張ったからこそ、悔しい気持ちは残ります。そして、その悔しい気持ちは次へのパワーの源になります。

うまくいくとは限りませんが、結果にこだわらずに、何か一つでいいので本気で頑張ってみてください。その結果がどうであれ、必ずみなさんの成長につながるはずです。

●○10月の主な行事予定○● (詳しくは10月行事予定をご覧ください。)

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------|
| 1日(火) 東京都民の日 | 2日(水) ~4日(金) 職場体験(2年) |
| 7日(月) 食育朝礼 | 8日(火) 学校説明会 |
| 10日(木) 東京都特別支援陸上大会、安全指導 | 11日(金) 前期終業式(4時間授業) |
| 15日(火) 後期始業式、認証式、専門委員会 | 16日(水) 脊柱側わん検診(2年)、職員会議 |
| 18日(金) 英語コンテスト、進路説明会(3年)、校外学習(5組) | |
| 21日(月) 生徒会朝礼、学校公開開始 | 24日(木) 避難訓練、貧血・小児習慣病検診(2年) |
| 25日(金) 漢字検定、学校公開終 | 30日(水) あだちからの日 |

7月22日(月)~29日(月) サマースクール

夏休み前半に、サマースクールを6日間の日程で行いました。夏休みを苦手教科克服の機会と捉え、多くの生徒が積極的に参加しました。特に3年生は高校受験を見据え、まるで講習会のような良い緊張感がありました。自習の時間も持ち寄ったテキストに真剣に向き合ったり、先生に質問したりする姿がありました。

理科は足立区生物園の方が特別講師として、授業を行っていただきました。骨格標本を見ながら、今までの知識を活用し、その標本が何の動物の骨なのかを予想しました。グループ毎によく考え、よく話し合い、考えを深めることができました。また、1年生の数学は全校の先生方が指導に当たり、マンツーマンの学習を行いました。先生方にわかるまで聞き、粘り強く学習することができました。すると、自然に生徒同士でも教え合う姿が見られました。

わからなかったことがわかる喜び、できなかったことができるようになる嬉しさ、それがやる気につながります。何事も諦めずに、最後までやりとげることができたら、大きな達成感が得られることでしょう。



8月26日(月)~30日(金)5組夏季学習教室

5組は夏休み後半、5日間にわたって学習教室を行いました。約一ヶ月ぶりの登校でしたが、変わらず元気に挨拶を交わし、学習にも前向きに楽しんで取り組む様子が見られました。



8月30日(金)は台風の接近もあり、雨が降る中での登校となりましたが、たくさんの生徒が集まりました。夏休みの宿題の仕上げを行ったり、自分の苦手分野のプリントに取り組んだりしました。先生方と一緒に、それぞれの課題と向き合う時間となりました。

夏休みの生活から、学校の生活リズムに戻る準備の時間にもなりました。

9月2日(月)全校集会

44日間の夏休みが終わり、学校が再開しました。初日は、台風10号の影響が心配されましたが、晴天のもとでの登校となりました。久しぶりに会う友達や先生方と夏休みの話題で盛り上がる姿があらこちらで見受けられました。

全校集会では校長先生から、3つのお話がありました。一つ目、この夏休み中に体育館工事があり、体育館の床と壁が美しく生まれ変わりました。また校舎内の給水管工事により、水道が自動になりました。猛暑の中、大汗をかきながら工事をしてくれた人など、いろいろな人のおかげで便利になったことを心に留め、感謝の気持ちをもって大切に使ってほしいです。二つ目に、長い休み明けということもあり、なかなか気持ちが学校に向かない人もいるだろうと思います。まずは今の自分の気持ちをしっかりと受け止め、気持ちを切り替えましょう。どうしても前に進めない時は、周囲の大人にSOSを出してください。一緒に考え、一緒に解決しましょう。三つ目に、ここから冬休みまでの4ヶ月は最も長く、忙しい日々になります。やるべきことを一人一人が考えて、自分の意志で進んでください。そして、みんなで新しい栗中をつくっていきましょう。

生活指導主任からは、9月1日の防災の日についてお話がありました。ここ最近、地震が続いています。学校はもちろん、家庭でも相談をして準備をしてください。特に、震災時は正しい情報を見極めることも大切です。日頃から正しい情報を整理し、正しい行動ができるようにしておきましょう。

